

平成 29 年度 事業計画

(平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日まで)

1. はじめに

1. 政府経済見通し（4月閣議）は「景気は一部に改善の遅れもみられるが、緩やかな回復基調が続いている。」と現状を認識し、先行きについて「雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかな回復に向かうことが期待される。」としており、景気の回復の期待を明記されているが、英国のEU離脱問題や米国のトランプ大統領就任など海外経済での不確実性による影響にも留意する必要がある事も指摘している。
2. 当工業会を取り巻く環境においては、新設住宅着工や、設備投資も昨年の横ばいになっているなどの影響を受け、平成 28 年度の工業会出荷金額は、年間で 943 億円の出荷金額であった。平成 29 年度は、経済の好循環を、持続的な成長路線に結びつけ、戦後最大の名目 GDP600 兆円の実現を目指す安倍政権のアベノミクスの第三弾とする「日本再興戦略 2016」による個人消費、設備投資などの増加を期待するところである。こうした中、当工業会の出荷金額は、太陽光発電対応住宅盤や、感震機能付住宅盤、電気自動車充電設備、センサースイッチ類の伸びが期待される所であり、平成 29 年度の出荷金額は対前年比で、点滅器 97.7%、接続器 98.0%、住宅盤 100.7%、その他を含む合計で 98.6%、絶対額で 929 億円と推定している。

平成 29 年度（平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月）金額ベースの伸長予測（H29 年 5 月時点予測）

	上期 (%)	下期 (%)	年度 (%)
点滅器	97.6	97.7	97.7
接続器	98.3	97.8	98.0
開閉器	106.2	108.4	107.4
住宅用分電盤	103.5	97.9	100.7
EV 盤	101.9	91.2	95.5
信号・情報機器	100.4	100.5	100.4
総額	99.3	97.9	98.6

3. 平成 29 年度は、第 4 次中期計画の最終年度になる。第 4 次中期計画の総括を行なうと共に、平成 30 年度から開始する新たな第 5 次中期計画を企画委員会中心に検討し策定する。

2. 最重点課題

第 4 次中期計画 5 大活動テーマの推進

- 1) 配線システムからの火災事故を撲滅する「安全品質の追及活動」
- 2) 交換リニューアル市場を構築する「安全・点検リニューアル活動」
- 3) 低炭素社会を配線システムで実現する「環境対応推進活動」
- 4) 新しい配線システムの標準化で安心を造りだす「標準化推進活動」
- 5) 新しい分野の市場を開拓する「新規分野開拓活動」

3. 重点項目 (定款順)

1. 配線システム及び配線器具に関する生産、流通等の調査及び研究
 - ・出荷統計調査(接地極付きコンセント含む)、需要動向・流通動向の早期集計
2. 配線システム及び配線器具に関する技術の調査及び研究
 - ・技術動向、技術課題等に関する調査及び研究
3. 配線システム及び配線器具に関する情報の収集及び提供
 - ・市場動向、環境問題等に関する情報収集及び提供
4. 配線システム及び配線器具に関する普及及び啓発
 - ・日配工の提案する製品の普及と安全点検など使用者への啓発
5. 配線システム及び配線器具に関する規格の立案及び推進
 - ・各種規格作成委員会活動の推進と取り纏め
6. 配線システム及び配線器具に関する内外関係機関等との交流及び協力
 - ・国内関係機関及び海外関係機関との協調体制構築
7. 前各号に掲げるもののほか、本会の目的を達成するために必要な事業

4. 具体的実施事項

第4次中期計画5大テーマの具体的実施事項

1) 「安全品質の追及活動」の推進

- ① 電気自動車充電に関する安全性向上(EV 充電施工ガイドラインの見直し)
- ② LED 照明など新たな負荷に対する点滅器の開閉性能に関する課題明確化
- ③ ユーザへの誤使用防止啓発活動の推進

2) 「安全・点検リニューアル活動」の推進

①安全点検PR活動の推進

- ・「配線器具の日」行事(2017年11月)首都圏(11月8日開催)、名古屋、大阪(11月10日開催)の3地区で実施。
- ・JECA FAIR 2017 電設工業展へ出展(2017年5月17~19日 東京ビッグサイト)
- ・ホームページの有効活用

②「交換の目安」の訴求

- ・普及・啓発委員会で、住宅盤、配線器具の取替え交換需要を掘り起こすための対外周知の方法などの検討を行なう。

③ 感震機能付き住宅盤の普及

- ・感震機能付き住宅盤を広く周知し、自治体等の補助金制度の制定支援などで普及を図る。
- ・感震センサの他社互換性を確立できるかを技術面及び品質保証面で検討する。

④ 電源コードの寿命の訴求

- ・電源コードからの事故削減のため、昨年改正した JWD-T12「一体成形プラグ指針」に基づき電源コードの設計標準使用期間の考え方を電気機器メーカーに訴求する。

⑤ 配線器具の適正な設置個数の提案検討

- ・家具に隠れるコンセントを配慮した設置個数の提案

⑥家電PLセンター情報交換会

- ・配線器具、住宅盤の事故情報の共有化。

3) 「環境対応推進活動」の推進

- ①電気自動車充電インフラに関し。経済産業省・国土交通省と連携し普及を図る。
- ②環境関連情報の発信を実施
- ③技術講習会の実施（従来の環境講習会、技術講習会を統合して実施）
- ④住宅盤専門委員会の技術講習会の実施
- ⑤施設見学会の実施（従来の環境のテーマにとらわれず、関心の高い施設で実施）

4) 「標準化推進活動」の推進

- ①新 JIS C 8300 「配線器具の安全性」の制定
 - ・電気用品技術基準解釈の将来の廃止に備え、現行の配線器具が製造・販売できるよう、別表第四「配線器具」の技術基準解釈の内容を整合規格として採用して頂くため、新 JIS C 8300 「配線器具の安全性」を制定するための活動を行う。
- ② JIS C 8281-2-1 「電子スイッチ」の改正原案作成。
 - ・日配工が担当する 17 件の IEC 整合 JIS の 1 つであり、5 年目の見直しとして改正原案を作成する。
- ③ JIS C 8328 「住宅用分電盤」の改正のための課題整理。
- ④ JWDS0007 付 3 「避雷機能付住宅分電盤」改正検討
- ⑤ JWDS0028 「電源プラグの耐トラッキング性」改正・廃止の可否を含め検討
- ⑥ IEC 国際会議への委員派遣
 - ・IEC SC23B の作業会 (MT4) へ委員を各 2 名派遣する。
(2017 年 4 月 スウェーデン スtockホルム) (2017 年 9 月 スイス ホルゲン)
- ⑦ データセンタ用の直流 400V 系の機器用カプラの IEC 提案準備 (電気設備学会と連携)
- ⑧ JW-K13 「標準化に係る産業財産権の取り扱い規約」の見直し

5) 「新規分野開拓活動」の推進

- ・顧客に、新たな満足を与えることができる分野を開拓する。
- ① 「USB コンセント」の普及のため、日配工規格「USB コンセント」の制定後、関係団体へ日配工規格の引用を依頼する。
- ② 「延長コードセット」のいろいろな課題からあるべき姿を検討する。
- ③ 企画委員会にて、新規分野の検討を行う。

5. その他

- ・日配工 役員改選。(5月総会にて)
- ・第5次中期計画立案
- ・平成30年度からの会費見直し検討
- ・住宅盤認定審査委員会 (2回/年) 工場立ち入り調査 (1回/年)
- ・日配工会報の発行 (3回/年) (6月、10月、1月)
- ・日配工需要予測の算出 (2回/年) (1月、5月)
- ・住宅盤専門委員会の三団体 (キャビネット工業会、盤標準化協議会、日配工) 情報交換会参画
- ・照明4団体事務局連絡会 (照明工、照明学会、LED照明推進協議会、日配工) 参画
- ・日配工卓上カレンダー作成、配布。

以上